

JA女性役員登用拡大のため「女性活躍推進セミナー」開催

JAの女性役員等の登用を促進するため、北海道農政事務所本所と連携してセミナーを開催。オンラインでの配信を併用することで、全道に幅広く波及。

○ 施策分類

女性

○ きっかけ・背景、課題の把握

第5次男女共同参画計画では、2025年度までに女性役員が登用されていない組織を「0」にすることを目指しているが、北海道内のJAでは、女性役員が登用されていない組織が多く、目標達成に向けて更なる推進が必要な状況。一方、当拠点管内では、道内初の女性組合長の誕生や、女性役員が増加した事例があり、女性役員から情報交換のためのネットワークを構築してほしいとの要望があった。

○ 取組の内容

拠点内にPTを立ち上げ、本省経営局就農女性課、本所企画調整室と連携し、管内JA女性理事等4名を招聘したセミナーを開催。セミナーでは、各JAにおける役員登用の方法、経緯等を述べた後、役員として果たすべき役割や女性役員を増やすための方策をテーマにディスカッションした。

開催に当たり、支局長から各JA組合長等に対し、女性登用の状況を説明するとともに、本セミナーの参加を依頼した。

○ 効果・成果、今後の方向性

・会場約30名、オンライン約80回線（全国）が参加し、組合長等のJA役員にも多数視聴いただいた。

・登壇した女性役員から、個性や感性を生かすことの重要性などが発信されたことで、アンケートでは、7割以上の者が「大変満足」又は「満足」と回答。理由として、女性役員の生の声を聞いて重要性を再認識した等、前向きな声が寄せられた。

・今後は、当所ホームページに掲載した本セミナーの議事録及び録画データを活用して、全道のJAに波及させていく考え。



ディスカッション



登壇者の皆さん

北海道農政事務所

English キーワードから探す Google 検索

報道・広報 政策について 統計情報 申請・お問い合わせ 北海道農政事務所について

ホーム > 政策について > 男女共同参画による多様な人材の活躍支援 > 「女性活躍推進セミナー～農業の未来を共に考える～」の開催 > 理事・参与として今後力を入れて行きたいこと

「女性活躍推進セミナー～農業の未来を共に考える～」の開催

理事・参与として今後力を入れて行きたいこと

女性の理事として、一理事としてでもいいので、こういう点に力を入れていきたいということがありましたら、一言ずつお願いします。

小内

私は参与として、女性理事を登用させることが、農協に一番貢献できることと思っています。本日は男女関係なく、女性の名前が推薦会議で出ることが一番理想的ですが、まだ当農協では難しいかもしれないので、女性枠を設けて女性理事を登用することが私にできることだと思っています。

佐藤

私は、次に理事になる人が同じ思いをしなくて済むようにしたいと思っています。内容が分からない状態で会議に参加することは非常に辛いです。会議での貢献度も上がり、会議で向かい合っている人にとってもマイナスにしかならないと思います。ですから、研修費をしっかりとらえて研修内容を充実させることや、理事会に傍聴可能な時間を設けて、理事の家族等にも興味を持っている人に対して傍聴参加の機会を作るといったことも一つの手段だと思います。

笠

私は、次に理事に就任した農家の先達の女性理事と、いつもそういう話をしています。内容は会議の雰囲気や、理事会で議論する議題などは、理事になってみて初めて分かった部分が多いです。例えば、発言しても、「それは理事会が終わってからにしてください」と言われてしまったことがあり、新理事のことも、新設される議の部への関係の関わり方などは理事の経験には入らないことだと思われてしまったこともあります。そのため、理事会終了後に議室以外を話し合う時間を各農家から提案することで、（規定の議室だけをこなしただけに終了してしまっている現状から）先を見据えたことに時間を使うように少しずつ聴いて行きたいと思っています。

セミナーの様態をホームページで発信

https://www.maff.go.jp/hokkaido/0129_1.html